

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【公表番号】特表 2007-504566 (P2007-504566A)

【公表日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-008

【出願番号】特願 2006-525682 (P2006-525682)

【国際特許分類】

**G 0 6 F 12/00 (2006.01)**

**G 1 1 B 27/10 (2006.01)**

**G 1 1 B 27/00 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/76 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 4 2 Z

G 1 1 B 27/10 A

G 1 1 B 27/00 D

H 0 4 N 5/76 B

H 0 4 N 5/76 Z

G 0 6 F 12/00 5 2 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 6 日 (2007.8.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 及び第 2 の記憶媒体からのデータ検索方法であって、

第 1 の記憶媒体上のデータは構造化されたファイルとして第 1 のディレクトリツリー (D \_\_ D T) に記憶されており、

第 2 の記憶媒体上に記憶されているデータは構造化されたファイルとして第 2 のディレクトリツリー (H D D \_\_ D T) に記憶されている形式の方法において、

第 1 の記憶媒体は、添付される第 1 の識別ラベルと第 2 の識別ラベルを有しており、

第 2 の記憶媒体上の第 2 のディレクトリツリー (H D D \_\_ D T) の第 1 分岐 (P R F) は第 1 の識別ラベルに関し、前記第 1 分岐 (P R F) のサブ分岐となる第 2 の分岐 (D F) は第 2 の識別ラベルに関しており、この場合前記第 1 分岐 (P R F) はさらなるデータ (DISC00...22)を含んでおり、

論理ディレクトリツリー (L \_\_ D T) が、さらなるデータ (DISC00...22)を含んでいる検索された第 1 及び第 2 のディレクトリツリーデータから構成されており、当該論理ディレクトリツリー (L \_\_ D T) の構造は、第 1 のディレクトリツリー (D \_\_ D T) の構造と同一であり、

第 1 又は第 2 のディレクトリツリー内でのみ使用可能なファイル (index.bdmv, 03003.mpls) は、論理ディレクトリツリー内で使用可能であり、

第 1 及び第 2 のディレクトリツリー内で使用可能なファイル (MovieObject.bdmv) に対しては、第 2 のディレクトリツリー (H D D \_\_ D T) から得られるバージョンが論理ディレクトリツリー内で使用可能であることを特徴とする方法。

【請求項 2】

第 2 のディレクトリツリー ( H D D \_ D T ) の第 2 分岐 ( D F ) は、第 1 のディレクトリツリー ( D \_ D T ) のサブセットか若しくは第 1 のディレクトリツリー ( D \_ D T ) と同一である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記さらなるデータ ( DISC00...22 ) は、読み取りに対してのみアクセスされる、請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

第 1 の記憶媒体は、プロバイダによって提供されており、第 1 の識別ラベル ( PROVIDER 0...1 ) はプロバイダに関しプロバイダ毎に特有のものであり、第 2 の識別ラベル ( DISC 0...11 ) は、第 1 の記憶媒体若しくは第 1 の記憶媒体上に記憶されているコンテンツ毎に特有のものである、請求項 1 から 3 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

第 1 の記憶媒体は光学ディスクであり、第 2 の記憶媒体は書換え可能なディスクであってオーディオ及び / 又はビデオ及び / 又はサブタイトルデータを含んだデータファイルを含んでいる、請求項 1 から 4 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

論理ディレクトリツリー ( L \_ D T ) は、実行時に一時的に構築される、請求項 1 から 5 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

ファイルが使用可能である場合の決定毎に、第 1 のディレクトリツリーから検索されるファイル名と第 2 のディレクトリツリーから検索されるファイル名のマッピングのためのマッピング手法が確定される、請求項 1 から 6 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

第 3 の記憶媒体が、添付される 2 つのラベルを有し、該 2 つのラベルのうちの第 1 のラベルが第 1 の記憶媒体の第 1 のラベルに等しい場合に、第 3 の記憶媒体が第 2 の記憶媒体の第 1 分岐 ( P R F ) からのデータにアクセスし得る請求項 1 から 7 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

第 1 及び第 2 の記憶媒体からのデータ検索装置であって、

第 1 の記憶媒体上のデータは構造化されたファイルとして第 1 のディレクトリツリー ( D \_ D T ) に記憶されており、

第 2 の記憶媒体上に記憶されているデータは構造化されたファイルとして第 2 のディレクトリツリー ( H D D \_ D T ) に記憶されている形式の装置において、

第 1 の記憶媒体から第 1 のディレクトリツリー構造 ( D \_ D T ) と、第 1 のデータファイルと、第 1 及び第 2 の識別ラベルを読み出すための手段と、

第 2 の記憶媒体から第 2 のディレクトリツリー構造 ( H D D \_ D T ) と第 2 のデータファイルを読み出すための手段と、

第 1 及び第 2 のデータファイルのファイル名を比較するための手段と、

第 1 の記憶媒体の第 1 の識別ラベル ( PROVIDER 0...1 ) と第 2 の記憶媒体の第 1 のサブ分岐 ( P R F ) 用の識別子とを比較し、それらに対応していることを確定するための手段と、

第 1 の記憶媒体の第 2 の識別ラベル ( DISC 00...11 ) と前記第 1 のサブ分岐 ( P R F ) のサブ分岐である第 2 の記憶媒体の第 2 のサブ分岐 ( D F ) 用の識別子とを比較し、それらに対応していることを確定するための手段と、

前記対応に基づく論理ディレクトリツリーを作成するための手段が設けられており、

この場合第 1 ( D \_ D T ) 又は第 2 ( H D D \_ D T ) のディレクトリツリーにおいてのみ使用可能なファイル ( index.bdmv, 03003.mpls ) は、論理ディレクトリツリー内で使用可能であり、第 1 及び第 2 のディレクトリツリー内で使用可能なファイル ( MovieObject.bdmv ) に対しては、第 2 のディレクトリツリー ( H D D \_ D T ) から得られるバージョンが論理ディレクトリツリー内で使用可能であり、その場合に第 2 のサブ分岐 ( D F ) から

のデータとさらなるデータ ( PROVIDER00...22)を含んでいる、第 1 のサブ分岐 ( P R F )  
のもとで得られるファイルが論理ディレクトリツリーにおいて得られるように構成されて  
いることを特徴とする装置。

【請求項 1 0】

第 1 の記憶媒体は、プロバイダによって提供されており、第 1 の識別ラベル ( PROVIDER  
0...1) はプロバイダに関しプロバイダ毎に特有のものであり、第 2 の識別ラベル ( DISC0  
0...11) は、第 1 の記憶媒体若しくは第 1 の記憶媒体上に記憶されているコンテンツ毎に  
特有のものである、請求項 9 記載の装置。

【請求項 1 1】

さらに第 1 の記憶媒体から検索されたファイル名と第 2 の記憶媒体から検索されたファ  
イル名を請求項 1 から 7 に記載の方法に従ってマッピングするための手段が含まれている  
、請求項 9 または 1 0 記載の装置。